

# エコアクション21 環境経営レポート

運用期間：令和6年6月～令和7年5月



株式会社  
たつみ  
総合建設コンサルタント  
異設計コンサルタント  
TATSUMI

令和7年7月18日 発行

# 目 次

## 表紙

- P 2. 目次
- P 3. 環境方針
- P 4. 取組みの対象組織・活動
- P 5. 組織図及び認証・登録範囲
- P 6. 実施体制
- P 7. 役割、責任、権限表
- P 8. 当年度及び中期環境目標
- P 9. 当年度及び中期環境目標及び評価
- P 10. 主要な環境活動計画及び取組み状況
- P 11. 社屋増築情報（増築部分）
- P 12. 社屋増築情報（既存部分改築）
- P 13. 総評

令和7年3月

健康経営優良法人  
プライト500の認定を受けました。  
(5年連続)



令和4年4月

やまぐち健康経営企業認定証を  
頂きました。(3年連続)



# 環 境 経 営 方 針

## 基本理念

株式会社 異設計コンサルタントは、地球環境改善を重要な課題と位置づけ、設計コンサルタントの事業活動を通じて環境に与える影響を低減し、自然環境との共存をはかれるよう活動します。

## 行動指針

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに、環境負荷の低減に取組みます。以下の行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、定期的な見直しを行い継続性のある改善を展開します。

1. 二酸化炭素の排出を削減します。  
電気、ガソリン及び液化石油ガスの使用量の削減を行います。
2. 廃棄物の削減  
分別を徹底し、書類の電子化を推進するなど紙使用量の削減を図ります。
3. 水使用量の削減  
節水に努め、水使用量を削減します。
4. 設計業務は、環境効果の高い工法や材料を提案します。
5. 環境に良い商品・サービスの採用・グリーン購入に努めます。
6. 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
7. 地域社会との環境コミュニケーションを良くし、地域の環境保全に努めます。
8. この環境方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を行い全従業員の環境保全に向けた意識の向上に努めますと共に広く公開します。

平成26年6月1日制定  
最終改訂日 令和7年7月18日  
株式会社 異設計コンサルタント  
代表取締役 光井謙二

## 取組みの対象組織・活動

### ◆組織の概要

#### (1) 名称及び代表者名

株式会社 翼設計コンサルタント  
代表取締役 光井 謙二

#### (2) 所在地

本社 山口県光市光ヶ丘5-1  
広島事務所 広島県広島市西区横川新町7-3松井ビル3F

#### (3) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者 本社取締役営業部長 有澤 智貴  
TEL 0833-71-2683 FAX 0833-72-4500  
E-mail t-arisawa@tatsumisekki.co.jp

担当者 本社営業部課長補佐 横山 賢  
TEL 0833-71-2683 FAX 0833-72-4500  
E-mail k-katagiyama@tatsumisekki.co.jp

#### (4) 事業内容

測量、土木関係建設コンサルタント、建築関係建設コンサルタント、地質調査、  
および、補償関係コンサルタント業務

#### (5) 事業規模

従業員数 50名、本社事務所、広島事務所の延べ床面積  
売り上げ高 12億3000万円／2024年（64期）

	本社	広島
従業員数	45人	5人
延べ床面積	1,395m <sup>2</sup>	111m <sup>2</sup>

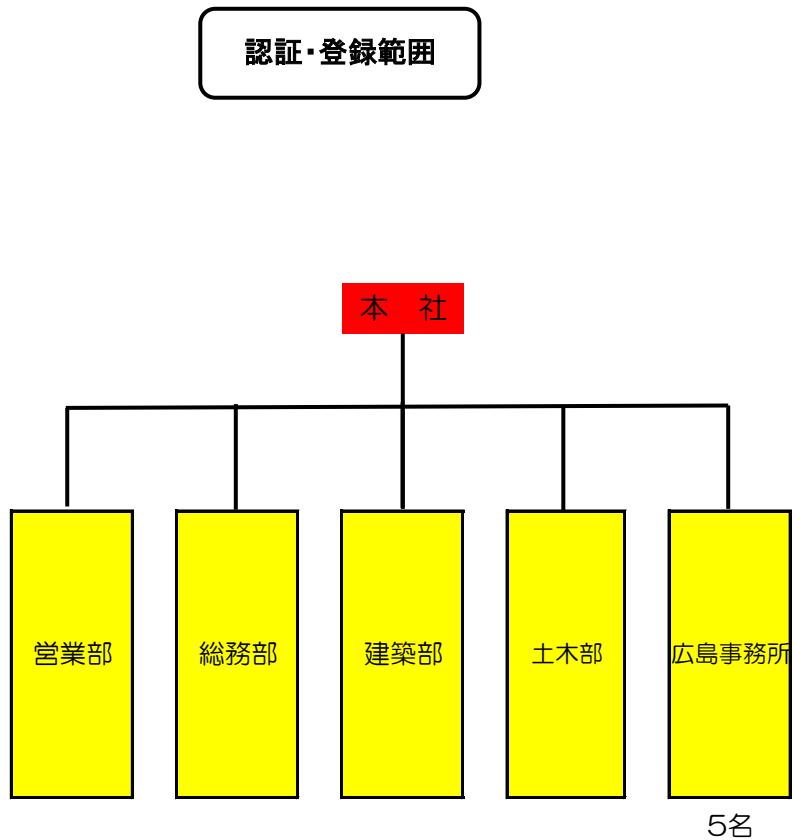
#### (6) 事業年度 6月～5月

#### (7) ISO 9001 認証取得（登録日：2000年12月15日）

### ◆認証・登録の対象範囲(組織・活動)

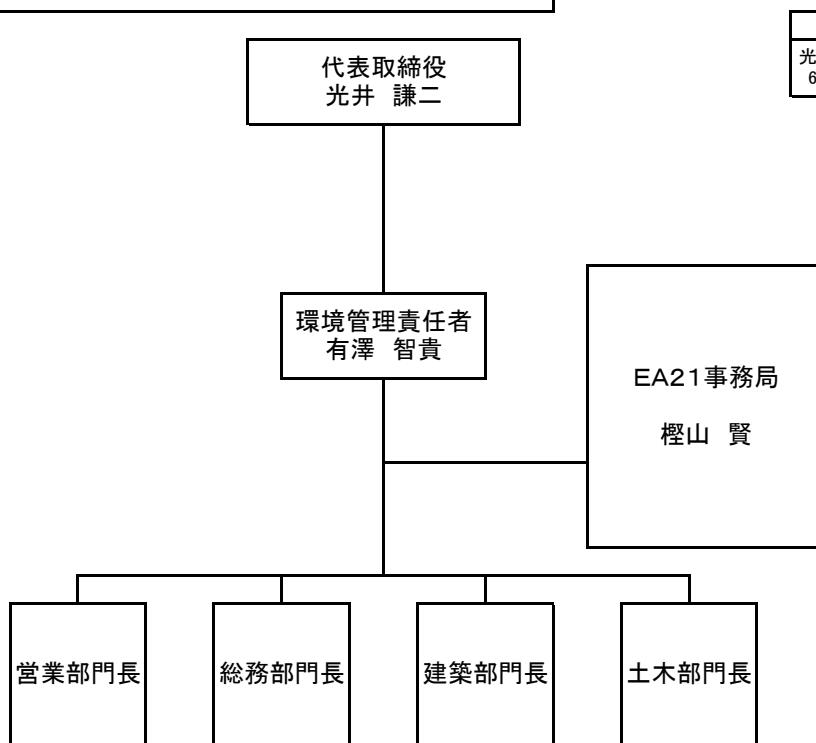
広島事務所を含む、全組織・全活動  
(広島事務所は、平成28年度の更新審査時に認証・取得した。)

## 1. 組織図及び認証・登録範囲（認証・登録範囲は以下のとおり）



- ・広島事務所は、平成28年度更新審査時に対象事業所とした。

## EA21実施体制(一般)



社長	作成者
光井 謙二 6月 1日	有澤 智貴 5月26日(現在)

### 役割分担表

氏名	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
光井 謙二	代表者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し、環境目標設定の承認。
有澤 智貴	環境管理責任者	全体の把握及び環境経営システムを構築、運用し、その状況を社長に報告する。環境活動実施計画書の作成。
横山 賢	EA21事務局	環境管理責任者への環境目標、環境活動計画の実施及び報告。環境への負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック。
EA21事務局		環境管理責任者への環境目標、環境活動計画の実施及び報告。環境への負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック。
営業部		各目標における推進・運用・維持管理。問題点の発見、是正、予防処置。
総務部		各目標における推進・運用・維持管理。問題点の発見、是正、予防処置。
建築部		各目標における推進・運用・維持管理。問題点の発見、是正、予防処置。
土木部		各目標における推進・運用・維持管理。問題点の発見、是正、予防処置。

## 2. 役割、責任、権限表

### 社長

- ・環境経営に関する統括責任。
- ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間の準備。
- ・環境管理責任者の任命。
- ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知徹底。
- ・環境目標設定の承認。
- ・代表者による全体の評価と見直し作業。
- ・環境活動レポートの承認。

### 環境管理責任者

- ・環境経営システムの構築、実施及び管理。
- ・環境活動実施計画書の作成。
- ・環境活動の取組み結果の代表者への報告。
- ・環境活動レポートの作成。
- ・環境経営システムの実施。
- ・従業員に対する教育訓練の実施。

### EA21事務局

- ・環境管理責任者への環境目標、環境活動計画の実施及び報告。
- ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェック。

### 各部門長

- ・各目標における推進・運用・維持管理。
- ・問題点の発見、是正、予防処置。

## 当年度及び中期環境経営目標

環境目標	単位	令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		(基準年)	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	78,918	78,918以下	78,918以下	78,918以下
電力使用量の削減	kWh	81,853	81,853以下	81,853以下	81,853以下
ガソリン使用量の削減	ℓ	16,202	16,202以下	16,202以下	16,202以下
廃棄物の削減	kg	945	945以下	945以下	945以下
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	332	332以下	332以下	332以下
環境に配慮した計画・設計の推進の提案	件	1件	1件以上	1件以上	1件以上
会社周辺の清掃及び環境保全活動	実施回数	1回	1回/年 以上	1回/年 以上	1回/年 以上

備考 1 環境目標の対象となる期間 事業年度：6月1日～翌年5月31日

2 CO2排出係数は、中国電力：0.521kg-CO2/kWh(2020年度・調整後排出係数)を採用。

3 化学物質は使用していない。

※広島事務所はテナントのため、電気、ガス、水道料金は共益費に含まれている。

#### 4. 当年度及び中期環境経営目標及び評価

環境目標	単位	令和6年度		評価
		目 標	実 績	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	78,918以下	78,526 1.0%減	達成
電力使用量の削減	k Wh	81,853以下	79,484kwh 3.0%減	達成
ガソリン使用量の削減	ℓ	16,202以下	15,875 ℓ 2.0%減	達成
廃棄物の削減	kg	945以下	940kg 0.5%減	達成
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	332以下	337m <sup>3</sup> 0.15%増	わずかに未達成
環境に配慮した計画・設計の推進の提案	件	1件/年 以上	1件	達成
会社周辺の清掃及び環境保全活動	実施回数	1回以上	12回	達成

備考 1 %は、削減率又は向上率を示す。

2 環境目標の対象となる期間 事業年度：6月1日～翌年5月31日

3 CO2排出係数は、中国電力：0.521Kg-CO2/ k Wh(2020年度・調整後排出係数)を採用

## 主要な環境経営計画及び取組み状況

### (1) 数値目標に対する取組み

#### 5-1. 二酸化炭素総排出量の削減

環境目標	具体的な施策	責任者	取組み状況及び評価	取組期間
電力使用量の削減	・エアコンの設定温度を決め、実行する。(夏場28℃、冬場22℃)	小薄	設定温度は基本的に守られている。	通年
	・昼休みの消灯。	原	昼休みは全室消灯を徹底している。	
	・残業時の不要な照明の消灯。	中岡	残業時の不要な照明の消灯活動はできている。	
	・長時間席を離れる時、パソコンの電源をOFFにする。(5分以上)	中岡	全社員のパソコンの消灯設定完了。	
	・クールビズ・ウォームビズ運動	有澤	省エネタイプのLED電灯を社内全体に導入済み。(H27年3月)	
ガソリン使用量の削減	・省エネドライブの励行。	中道	社用車にステッカーを貼って啓発活動を実施。エコドライブに努めている。	通年
	・配車計画の合理化。	中道	社用車は、低燃費車（ハイブリッドカー）を優先的に使用している。	
	・アイドリングストップの励行。	中道	ステッカーを貼って啓発活動を実施。アイドリングストップを実施できている。	
ガス使用量の削減	・給湯器の効率使用。	小薄	節約のテープラを貼り、啓発活動を実施。使用量の削減に繋がっている。	

#### 5-2. 廃棄物の削減

環境目標	具体的な施策	責任者	取組み状況及び評価	取組期間
紙使用量の削減	・書類の電子化を推進し、紙使用量の削減を図る。	原	会議用資料等の電子化により紙使用量の削減に繋がっている。	通年

#### 5-3. 水使用量の削減

環境目標	具体的な施策	責任者	取組み状況及び評価	取組期間
節水活動	・水を流しっぱなしにしない。	原	節水のテープラを貼り、啓発活動を実施。使用量の削減に繋がっている。	通年

#### 5-4. 環境に配慮した設計の推進

環境目標	具体的な施策	責任者	取組み状況及び評価	取組期間
環境に配慮した設計の推進	・設計業務は、環境効果の高い工法や材料の提案。	小澤	柳井体育館改修においてエネルギー消費性能向上措置を行った。	通年

#### 5-5. 会社周辺の清掃

環境目標	具体的な施策	責任者	取組み状況及び評価	取組期間
会社周辺の清掃(年1回)	・会社周辺の清掃活動を行う。	有澤	会社周辺の清掃は毎日行い、草刈り活動は定期的に実施できている。	通年

～ 異設計コンサルタント ニュース～

## 社屋を増築しました



### 建築設計室・災害対応拠点 整備

#### ●増築部分●

**災害対応拠点** 台風・大雨・地震など大規模災害時に災害復旧の最前線に立って測量設計をするのがコンサルタントの使命です。1Fにシャワー、トイレ、キッチンを完備した災害対応拠点を整備。泊まり込みでの対応を行います。停電時でも発電設備にて対応。



**建築設計室** BIM（3次元CAD）ソフト『AUTODESK REVIT』と専用ワークステーションを導入した設計室を2Fに整備。次代を切り開く建設DX（デジタルトランスフォーメーション）に真正面から取り組みます。



（経済産業省 事業再構築補助金事業）

## ● 既存部分改築 ●

**女性トイレ新設** 女性が働きやすい職場づくりの一環として、設計室がある2Fに女性トイレを2ブース新設。女性の更なる活躍に期待しています。



(山口県 令和3年度女性活躍促進施設整備補助金事業)

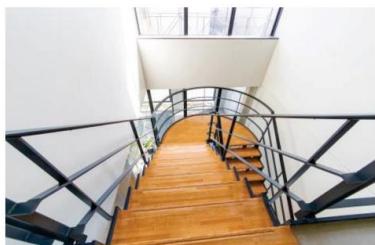
**顧客応接室整備** お客様へわかりやすく提案を行う専用の応接室を整備。インテリアと照明にこだわり、リラックスできる心地よい空間を提供。壁面にはインラクティブホワイトボード（電子黒板）を設置し、3次元BIMモデルを使った提案を致します。



**応接室リニューアル** ハイタイプ応接セットを導入しました。 **社長室リニューアル**



**階段 手すり増設**  
階段の手すりにカバーを増設し、持ちやすく改裝。塗装の塗り替えも行いました。



## 6. 取組み結果

- ・二酸化炭素排出量（ガソリン使用量の削減）は達成できた。
- ・水使用量はわずかに未達成。電気使用量の削減、環境に配慮した設計の提案、清掃活動は達成。
- ・廃棄物の削減についても達成することができた。

## 7. 次年度の達成目標と施策

- ・電気使用量は普段からの節電により基準年以下とする。
- ・ガソリン使用料は、アイドリングストップに努めて基準年以下とする。
- ・二酸化炭素排出量は基準年以下とする。
- ・一般廃棄物の削減は基準年以下とする。
- ・水の使用量の削減は基準年以下とする。
- ・環境に配慮した設計は1件。会社周辺の清掃は年1回以上を目標とする。

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去10年以上なし。

### 環境関連法規一覧

廃棄物処理法、資源有効利用法、消防法、家電リサイクル法、労働安全衛生法事務所衛生基準規則

グリーン購入法、フロン排出抑制法、小型家電リサイクル法、自動車リサイクル法

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律、大気汚染防止法

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

EA21の社内における取り組みも社員に浸透し、日常化してきている。

個々の意識改革が、目標の達成に繋がっていることは明確である。

一方で会社の増築や、社員数の増員により、未達成に終わる項目があることは仕方のないことである。

個々の、日々の取り組みを意識して、環境配慮に努めることが大切である。

今年も、昨年に引き続き社用車にハイブリッド機能、クリーン機能を備えたエコカーを導入した。

会社としての設備投資はこれからも続けていき、総合建設コンサルタントとしての

さらなる発展を環境配慮を通じて実現していく。

### 令和7年に導入した最新ハイブリッドエコカーたち



フリードハイブリッド



デミオ（クリーンディーゼル）